



## DNW-18024 の概要

課題番号 : DNW-18024

課題名 : 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) ウイルスの創薬標的検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

浦田 秀造 (国立大学法人長崎大学熱帯医学研究所)

課題番号 DNW-18024 では、重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) ウイルスの出芽に関するタンパク質を標的とした新たな SFTS 治療薬の探索に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

感染性 SFTS ウイルスの産生には、全てのウイルスタンパク質及びウイルスゲノムが粒子内に適切に取り込まれる必要がある。ウイルス因子の粒子内への取り込みを阻害する化合物は新規 SFTS 治療薬となる可能性がある。

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

ラッサ熱の原因であるラッサウイルスは SFTS ウイルスと同様に一本鎖 RNA ウィルスであり、その粒子形成及び出芽に関係するタンパク質が創薬標的となることを報告してきた。

- 最終目標 :

SFTS ウイルスの粒子形成に関わる宿主側因子を同定し、創薬の可能性を検討する。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。